

「青森県の工業」（2019年工業統計調査 青森県結果書）の概要

本結果書は、製造業の実態を明らかにすることを目的に、製造業の事業所を対象に、令和元年6月1日現在で実施された2019年工業統計調査の青森県分について集計し、「青森県の工業（2019年工業統計調査 青森県結果書）」として取りまとめました。

1 調査の期日

令和元年6月1日現在（事業活動に関する調査対象期間は、平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）

2 集計の範囲

日本標準産業分類に掲げる大分類E—製造業に属する事業所（国に属する事業所及び従業者3人以下の事業所を除く。）を対象としている。

3 調査結果の概要

2019年工業統計調査による本県製造業は、製造品出荷額等が7年ぶりに減となり、粗付加価値額も平成29年に比べ減少したが、事業所数及び従業者数は平成30年に比べ増加となった。

○主要項目の状況（従業者4人以上の事業所）

項目	平成30年	令和元年	増減数	増減率
事業所数	1,368事業所	1,377事業所	9事業所	0.7%
従業者数	56,739人	57,586人	847人	1.5%

項目	平成29年	平成30年	増減数	増減率
製造品出荷額等	191,213,318万円	177,932,241万円	▲ 13,281,077万円	▲ 6.9%
粗付加価値額	69,071,524万円	60,611,913万円	▲ 8,459,611万円	▲ 12.2%

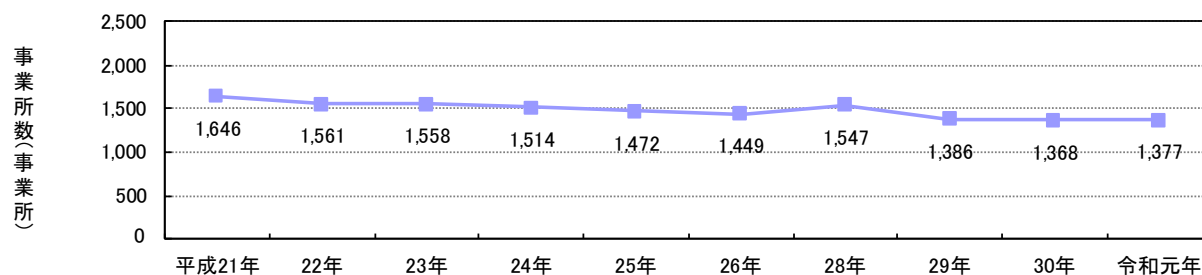
4 主要項目別の特徴

(1) 事業所数

事業所数は、1,377事業所で、平成30年に比べ9事業所の増加（増減率0.7%）となった。

産業別では、全24産業のうち、食料品（増減数10事業所）、電子部品（増減数4事業所）など9業種で増加し、木材・木製品（同▲3事業所）など9業種で減少した。

図1 事業所数の推移

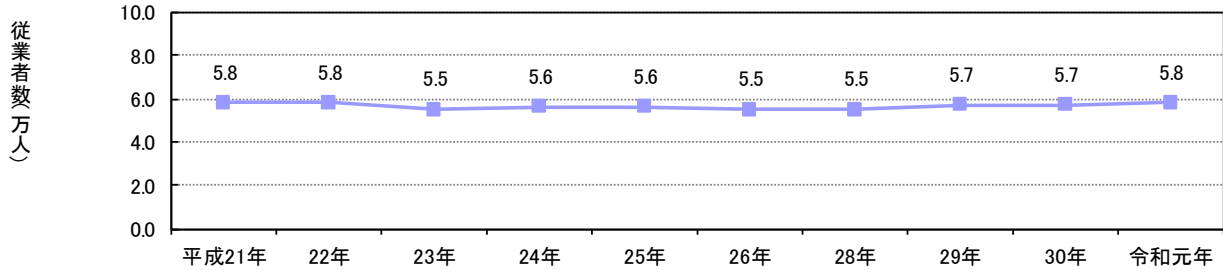


(2) 従業者数

従業者数は、57,586人で、平成30年に比べ847人の増加(増減率1.5%)となった。

産業別では、全24産業のうち、食料品(増減数411人)、電気機械(同405人)、非鉄金属(同228人)など13業種で増加し、繊維(同▲214人)、電子部品(同▲196人)、パルプ・紙(同▲100人)など10業種で減少した。

図2 従業者数の推移

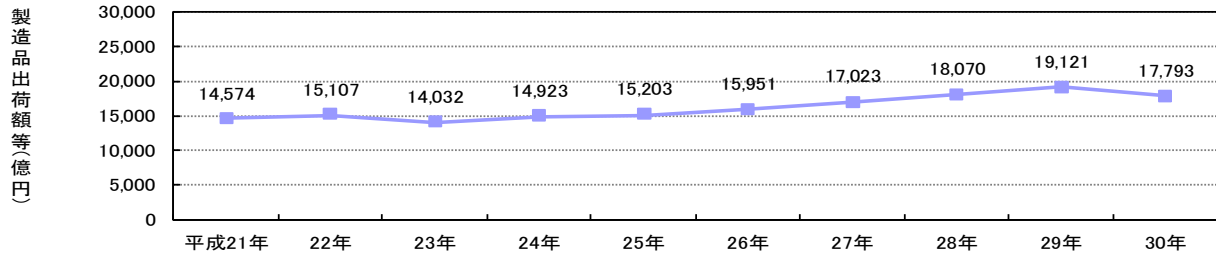


(3) 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、1兆7,793億円で、平成29年に比べ1,328億円の減少(増減率▲6.9%)となり、7年ぶりの減少となった。

産業別では、全24産業のうち、鉄鋼(増減額144億円)、電気機械(同112億円)、食料品(同89億円)など11業種で増加し、非鉄金属(同▲1,094億円)、電子部品(同▲683億円)、化学(同▲29億円)など11業種で減少した。

図3 製造品出荷額等の推移



(4) 粗付加価値額

粗付加価値額は、6,061億円で、平成29年に比べ846億円の減少(増減率▲12.2%)となった。

産業別では、全24産業のうち、食料品(増減額110億円)、電気機械(同96億円)、パルプ・紙(同70億円)など9業種で増加し、非鉄金属(同▲1,086億円)、化学(同▲47億円)、鉄鋼(同▲33億円)など13業種で減少した。

図4 粗付加価値額の推移

